

第6学年1組 国語科学習指導案

1 単元名・教材名

意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう「未来がよりよくあるために」

2 本単元の意図

本単元を指導するに当たって、小学校学習指導要領の第5学年及び第6学年の「B 書くこと」の指導事項「ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること」を中心に指導を行っていく。本単元の1時間目と2時間目で「平和のとりでを築く」を参考にして戦争と平和について考えたところで、本時では「未来に向けて、どんなことを大切にしていきたいかを考え、書き出そう」という学習課題を立て、戦争と平和以外のテーマにも目を向ける。自分が書き出したものの中から最も大切にしたいものを選び、本時以降の活動において、自分の考えの根拠となる情報を適切な手段を使って集めたり、グループでの意見発表会をしたりする中で考えを深めていく。

本教材の指導を通して説得力のある文章の書き方を学ぶことが出来ると考えている。

3 単元の目標

- (1) 未来がよりよくあるために、様々な視点から大切にしたいことを考えようとしている。
(関心・意欲・態度)
- (2) 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめ、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合えることができる。
(話すこと・聞くこと)
- (3) 目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、文章全体の構成の効果を考えることができる。また、書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合えることができる。
(書くこと)

4 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 話す能力・聞く能力	ウ 書く能力
単 元 の 評 価 規 準	・ どんな未来にしたいのか自分の考えをもとうとしている。	・ グループ活動において、話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして計画的に話し合い、考えをまとめている。	・ 未来がよりよくあるために大切にしたいことを決め、目的や意図に応じて書く事柄を収集し、文章全体の構成の効果を考えている。また、表現の仕方に着目して助言し合っている。
学 習 活	① 「平和のとりでを築く」を参考にして、どんな未来にしたいのか自分の考	① 互いに自分の考えとその根拠となる事例を発表するとともに、質問や助言	① 未来がより良くあるために、さまざまな視点から大切にしたいことを考

動 に 即 した 評 価 規 準	えをもとうとしている。	をしあって考えを深めている。 ② グループで意見文を読み合い、互いに考えを深めたり広げたりしている。 ③ 説得力のある意見文にするための工夫について伝え合いや振り返りを通して、理解を深めている。	え、付箋に書き出している。 ② 自分の考えの根拠や理由となる情報を適切な手段で集め、より説得力のある情報を選択している。 ③ 「初め」「中」「終わり」の構成に従って、意見や事例を書き込んだ付箋を並べて整理し、意見文の組み立てを考えている。 ④ 教科書 P. 98 の例文を通して、説得力のある意見文の工夫について理解するとともに、構成表を元に、意見文を書いている。
---------------------------------------	-------------	---	---

5 指導と評価の計画（全 11 時間扱い）本時 3/11 時

時	主な学習活動	学習内容	評価規準・ 評価方法
1 ・ 2	○「平和のとりでを築く」を読み、自分がどのような未来にしていきたいのかを考える。	○どのような未来にしたいのか考えを持つ	アの① ・発言やノートによる考察
③	○未来に向けて、どんなことを大切にしていきたいかを考える。	○表に分類・整理する方法	アの①、ウの① ・ワークシートによる考察
4 ・ 5	○自分の考えの根拠となる情報を、適切な手段を使って集める。	○情報を集める方法 ○集めた情報の整理の仕方	ウの② ・ノートによる考察
6 ・ 7	○「未来がよりよくあるために」をテーマに、それぞれの意見とその理由をグループで聞き合い、考えを深める。	○発表の仕方 ○発表の聞き方 ○考えの深め方 ○質問や助言の仕方 ○メモするときの観点	イの① ・机間指導による考察 ・ノートによる考察
8	○意見文の構成のしかたを知り、意見文を書くための準備をする。	○意見文の構成の仕方	ウの③ ・付箋や構成表による考察
9 ・ 10	○説得力のある文章を書く工夫について理解し、意見文を書く。	○説得力のある文章の書き方	ウの④ ・意見文の考察
11	○意見文を読み合い、内容への感想や書き	○友達の文章から自分の考	イの①、②

	方の工夫について気づいたことを伝え合う。	えを深めたり広げたりする ○説得力のある意見文にするための工夫について理解を深める	・机間指導による考察 ・ワークシートによる考察
--	----------------------	--	----------------------------

6 本時の学習指導（本時 3/11 時）

(1) 目標

- どんな未来にしたいのか、そのために何ができるのかを、現在の社会や自然環境、身の回りのことなどに目を向け、自分の考えを書き出すことができる。

(2) 評価規準（1 時間の授業に即した具体的なもの）

ア 関心・意欲・態度	ウ 書く能力
① 「平和のとりでを築く」を参考にし、どんな未来にしたいのか自分の考えをもとうとしている。	① 未来がより良くあるために、さまざまな視点から大切にしたいことを考え、付箋に書き出している。

(3) 展開（○は指導上の留意点）

前時の学習内容	○どのような未来にしたいのか考えを持つ
---------	---------------------

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫	時間
1 本時の学習課題を確認する。	・ 本時の学習課題	○前時までの学習を振り返り、本時の学習に意欲的に取り組めるようにすると共に、問題意識を高める。	5'
未来に向けて、どんなことを大切にしていきたいかを考え、書き出そう。			
2 最近のテレビやニュースから印象に残っているものを挙げ、未来について考える足がかりとする。	・ 未来について考えるための足がかり	○明るい話題や身近な地域の話題にも目を向けるようにする。 ○発言が出にくい場合は、経済・福祉・環境・人権・スポーツなどテーマを提示する。	10'
3 表に整理・分類する方法を知る。	・ 表に分類・整理する方法	○イメージしやすくするために、教科書 P.93 の表を見ながら説明する。	5'
4 現在の状況を踏まえて、どんなことを大切にしていきたいか付箋に書き出し、表に分類・整理する。	・ 未来がよりよくあるために、どんなことを大切にしていきたいか付箋に書き出す。	○ワークシートを使って一人一人分類・整理するようにする。 ○表の四か所それぞれに三枚	20'

		以上ずつ貼ることが出来るようにする。足りなかった場合は付け足しても良いことを伝える。	
6 書き出したものから、最も大切にしたいものを決める。	・未来がよりよくあるために最も大切にしたいものを決める。	○表を見て、最も大切にしたいものをノートに書くようにする	5'

7 備考 在籍児童数 40 名

8 板書計画

◎最も大切にしたいこと

表
(模造紙)

・
・
・
・自然災害
・いじめ
・事故
・シリア内戦

〈最近のニュース〉

どんな未来にしたいか

未来がよりよくあるために
未来に向けて、どんなことを大切にして
きたいかを考え、書き出そう。

「未来がよりよくあるために」

6年1組 番 名前()

社会や環境に関わること

新たに実現していきたい

よさを残していきたい

人や自分自身に関わること